

「避難区域等の住民の皆様の こころとからだの健康を見守ります」

東日本大震災及び福島第一原発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷（トラウマ）を負った県民のこころの健康度や生活習慣を正しく把握し、健康、福祉、医療にかかる適切なケアを提供することを目的に、平成23年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っています。

また、支援が必要と思われる回答者を対象に、電話等による支援を行うと共に、市町村、ふくしま心のケアセンターと支援対象者を速やかに共有し、効果的・効率的な支援を実施しています。